



能
法
五
至
是
坤



修德五方縣志目錄

乾坤之類

文月一	三秋一	初秋一	合秋二
秋露二	稿索三	初露三	花生三
天川三	七夕四	祝洗四	槐葉四
貸小袖四	立夏五	夏之宵五	星合五
星公五	星祭五	冬六	學市六
送生六	送火六	燈籠六	切露六
高燈籠七	接符七	門祭七	魏棚七
玉祭七	冬月七	生身魂八	刺糖八
西瓜八	踊八	角力九	八月九

目



系月九	竹島九	三田娘九	八期十
繪行魚十	釣門十	釣迎十	秋十一
秋淨十一	秋新十一	露十一	露十二
秋淨十二	秋空十三	初月報十三	二日月十三
三日月十三	待骨十四	秋月十四	月十四
月兒十五	前月十五	今日月十五	名月十六
十六報十六	三待十六	放生會十六	收骨十七
後彼岸十七	冷十七	秋亭十七	秋亭十七
良亨十八	庭庭十八	忘痛十八	秋山十八
秋香十九	去表十九	秋月和十九	秋南十九
秋水十九	霜築二十	望分二十	二百十日二十

下一

鳴子二十	引板二十	案山子廿一	露水廿一
今年末廿一	新酒廿一	九月廿二	後籠廿二
此邊字廿二	後月廿二	月名號廿三	碓廿三
柚味嚼廿三	秋蕎麥廿三	露呵田廿三	露秋廿四
惜秋廿四	行秋廿四	冬近廿四	九月廿四
相一桑廿四	數折廿五	萩廿五	桔橙廿五
女郎廿六	名花廿六	花燈廿七	墨珠沙花廿七
雀麥廿七	葵廿七	蘭廿八	秋海棠廿八
秋月廿八	葉鶴廿八	蕨尾廿八	我木文廿九
藤袴廿九	雪仙廿九	紫苑廿九	芒廿九

植物之類

目

蚕	北七	秋虫	北八	秋虫	北八
菜	北六	生虫之部			
尾虫	北五	秋虫	北八	秋虫	北八
苜蓿	北四	秋虫	北八	秋虫	北八
芭蕉	北三	秋虫	北八	秋虫	北八
豆引	北二	秋虫	北八	秋虫	北八
芥田	北二	秋虫	北八	秋虫	北八
系瓜	北一	秋虫	北八	秋虫	北八
秋	北一	秋虫	北八	秋虫	北八

下二

原	北四	秋虫	北八	秋虫	北八
海	北三	秋虫	北八	秋虫	北八
山	北三	秋虫	北八	秋虫	北八
稻	北三	秋虫	北八	秋虫	北八
川	北三	秋虫	北八	秋虫	北八
露	北四	秋虫	北八	秋虫	北八
烟	北九	秋虫	北八	秋虫	北八
菜	北八	秋虫	北八	秋虫	北八

目

佛修五百題年月源

乾坤之類

十月	甲	神壽月	甲	小毒	甲	小六月	甲
初冬	甲	冬	甲	冬日	甲	玄務	甲
風	甲	冬	甲	冬操	甲	冬鏡	甲
燈屏	甲	切	甲	竹桶	甲	相生桶	甲
竹枝	甲	精	甲	巨魁	甲	埋生	甲
海鏡	甲	炭竈	甲	炭	甲	套	甲
蒲團	甲	沈表	甲	布子	甲	衣巾	甲
足袋	甲	冬川	甲	冬山	甲	山城	甲
雲月	甲	冬玉	甲	冬香	甲	子燈心	甲

袴	甲	數	甲	款尺世	甲	冬月	甲
空月	甲	牙	甲	舊水	甲	水	甲
妙粧	甲	空車	甲	精	甲	孫	甲
靴	甲	納豆	甲	空吹	甲	牙紫	甲
茶味	甲	沙走	甲	羅八	甲	空入	甲
空	甲	空考	甲	空分	甲	空	甲
年内幸喜	甲	年内意	甲	喜信	甲	年内忘	甲
年重下	甲	年内想	甲	煤掛	甲	孫橋	甲
孫造	甲	行年	甲	年香	甲	年希	甲
年忘然	甲	年坂	甲	掛乞	甲	尾拂	甲
周兄	甲	大世日	甲	除水鏡	甲	除表	甲

神符之部

神送	六五	神搖	六五	神留	六五	神返	六五
神生燒	六六	吹筆	六六	神名越	六六	連摩忌	六六
神命海	六六	十	六六	神名會	六七	芭蕉忌	六七
神忌	六七	神子海	六七	神印	六七	神佛名	六八
神念仙	六八	神垢	六八	神系	六八		
神時	六九	神	六九	神	七十	神	七十
神	七一	神	七一	神	七十一	神	七十一
神	七二	神	七二	神	七十二	神	七十二
神	七三	神	七三				

降物之部

植物之部

落葉	七四	艾葉	七五	救急	七五	枯柳	七六
神	七六	麥	七六	枇杷	七七	山	七七
神	七七	茶	七七	八	七六	枯	七八
神	七八	神	七八	神	七九	神	七九
神	七九	神	七九	石	八十	大	八十
葱	八十	神	八十	水	八一	神	八一
神	八十一	神	八十二	神	八十二	神	八十二
神	八三	神	八三				
神	八四	神	八四	神	八四	神	八四

生獸之部

号	八十五	琴	八十五	浮	八十五	小	八十五
鴨	八十六	乾	八十六	生	八十七	塔	八十七
鞍	八十七	飯	八十七	牡	八十七	網	八十八
粟	八十八	黍	八十八	水	八十八	吸	八十九
求	八十九	書	八十九	濟	八十九	濟	八十九
瘡	八十九	冬	九十	都	百		

俳諧五百歌

過日庵組俳諧
歌々集卜早按

秋之部

文月 文月也 輝田の 戦くく 居る事
 文月也 秋の 葉も 志す 後さる 一息
 文月也 年暮の 秋の 物思ふ 卜早
 文月也 七名物 勢く 夕あふ 由早
 文月也 水も 不敷く あり 内巻
 文月也 月も 付く 下あつ 加法
 文月也 物も 加減 あり 総布

秋

立秋

蟹嘗る露の秋の光りり丸 双鳥
 秋立やあけははば葉を枯元 素山
 推の回そぬるは輝下立よりり 深那
 般屋あよりけり清くは秋立 水舟
 輝立色人の出来ふよりり斗星 文井
 硯水ぬる立絶たう見たり 此書
 耳より少し眼を好まはるは秋 素岳
 秋立や子葉よゆぬる日の白ん 乙良
 きの秋の心そきや子務作り 一具
 初秋や向暮きむきり峰の雲 木丈
 初秋や中と忘れぬらう孫時 高よ女

初秋

初秋や露の光りり丸 等雄
 きの秋の心そきや子務作り 向号
 去川秋やまの谷ゆきははる 素屋
 不斗さぬる秋も初秋の露ぬり 露竹
 初秋や暮る初来は庭片より 船柳
 つよき初秋の秋を京よりり 川尖
 夕少し垣根をるよりり初秋の秋 梅室
 櫃をりり水もはる初秋の秋 尺長
 け雲の水も移りり初秋の秋 桂陰
 何となく初秋の秋を京よりり 巳有
 日の片々初秋の秋を京よりり 松竹

今初秋

秋

都くみく通る幾七きつ露 松露
 きのまはれそくきくきく露 乙園
 網干くおろし見ゆる中初はじ 雲涯
 今と物生を中自然知ぬるも 卜早
 洲を橋より流る世生のおまゆ 五井
 人聲 此中より上る世生は 月冢
 志きくく下重くく 霧に雲生は 星峰
 露のりは世生は河くそふ見ぬは 水信良
 志きくくく羽振直は色蒼く露 岬月
 天川 磯山の流き木立を河くすの川 為山
 楊生を流る子とを留る天は河 共風

流きくくそ木流はせ銀澤 其仙
 風靡ふく音はきくおそは川 西言
 お遠く老のふらふくや天の河 菊吉
 庭光りくく照ふくく河くすの川 一旭
 樹よ風の好まきくくく 銀河 珠之
 雲くくくは程の中なる星河 鼎左
 念のそく子あはれきくく 河澤 姑く
 比夕ア月山はくくく河くすの河 得甚
 七夕やまくおろしおろし夕きく死 桑香
 七夕子静るれりのお夜庭の味 梅通
 七夕七見まぬぬ人のくく歩行 米上

秋

星合	心ゆくもはたしむるをばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐
星合	星合をばあはれな青	可憐

冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸
冬	冬空の物もよもやなく暮るる日敷	多幸

秋

秋考

露

下り坂や又つる水の中秋の露
 九起
 朝のや竹の葉に露の気
 羽長
 舟をこぎぬ水に舟の影
 卜早
 目の中をく物に影をく
 空悠
 家抽の傍る露の影に
 良和
 夕の影の光をく露の影
 月宮
 舟をこぎぬ水に舟の影
 翠堂
 夕の影の光をく露の影
 如法良
 舟をこぎぬ水に舟の影
 蟻道
 舟をこぎぬ水に舟の影
 露富

舟をこぎぬ水に舟の影
 依之
 舟をこぎぬ水に舟の影
 冥市
 舟をこぎぬ水に舟の影
 素朗
 舟をこぎぬ水に舟の影
 卜早
 舟をこぎぬ水に舟の影
 双鳥
 舟をこぎぬ水に舟の影
 嘉曉
 舟をこぎぬ水に舟の影
 雅浩
 舟をこぎぬ水に舟の影
 早亦
 舟をこぎぬ水に舟の影
 松竹
 舟をこぎぬ水に舟の影
 松市

月

空野も月力の命をなすはつと 林膏
 地もろくくぬる程流や秋の月 卜早
 りとの壁を直如の月とよまのるは 羽長
 水ぬき月しつすろくおの海し 冥帝
 柳を其一隅にさすろくおの月 為山
 井の傍に静をそく月の青さす 一景
 月代おを色ぬめ度くお時のお 露竹
 為の火々運るおのそろく月の雲 翠峰
 名難おをよもろくおのそろく 卜舟
 月と露ぬきおのりぬろく雲のそく 秋堂
 水にぬく程ぬろく月のもろくお 巻富

月見

月代おをよもろくおのそろく 一人言 露竹
 手はろくおの物ぬれ月の清きろく 清暇
 見遠きおの馬ぬろく月の照る 丹嶺
 柳をよもろくおの柳の月見州 為以
 川越しろくおのそろくおの月見お 栄枝
 何れ果しるおのそろくおの月見お 出英女
 幸いおの如あろくおの月見ろく 為舟
 柳をよもろくおの柳の月見お 卜早
 葉ぬきろくおのそろくおの月見お 秋堂
 手はろくおの物ぬれ月の清きろく 清暇
 空ぬぬきおのそろくおの月見お 為舟

秋

雨月

空ぬぬきおのそろくおの月見お 為舟

片侍ふ鳴りりてはるる花の如く
 一 雲
 白の如く折れはるる花の如く
 一 鳥
 晴際よりまきくけりての如く
 一 雲
 おりての如くはるる花の如く
 一 鳥
 うすくはるる花の如く
 一 鳥
 秋の清くはるる花の如く
 一 鳥
 雲の如くはるる花の如く
 一 鳥
 河の如くはるる花の如く
 一 鳥
 晴の如くはるる花の如く
 一 鳥
 月を清くはるる花の如く
 一 鳥
 霧の如くはるる花の如く
 一 鳥

月を清

名月
 花の如くはるる花の如く
 一 雲
 白の如く折れはるる花の如く
 一 鳥
 晴際よりまきくけりての如く
 一 雲
 おりての如くはるる花の如く
 一 鳥
 うすくはるる花の如く
 一 鳥
 秋の清くはるる花の如く
 一 鳥
 雲の如くはるる花の如く
 一 鳥
 河の如くはるる花の如く
 一 鳥
 晴の如くはるる花の如く
 一 鳥
 月を清くはるる花の如く
 一 鳥
 霧の如くはるる花の如く
 一 鳥

名月

秋

秋日和 市井町の涼なる秋なるも秋なる 卜早
温泉燦々秋の光るも秋なる和 杉芳
夕の光 照るの光を秋の日和知 文叔
葉のうらる柳の枝を秋の和 卜早

秋雨 時を待てて雨の神を秋の雨 尾村
降るも秋の光るも秋の雨 尾村
虹の立たずも秋の光るも秋の雨 尾村
足空と天毒うりて秋の雨 泰山

秋水 澄きくも秋の光るも秋の雨 祭時
初なるも秋の光るも秋の雨 縁之
くつりも秋の光るも秋の雨 松博

雨集 涼ききくも秋の光るも秋の雨 杉甫
くも秋の光るも秋の光るも秋の雨 祖以

野分 涼ききくも秋の光るも秋の雨 古風
吹止るも秋の光るも秋の雨 松博

二百廿 涼ききくも秋の光るも秋の雨 卜早
山をの道も秋の光るも秋の雨 卜早
この光るも秋の光るも秋の雨 巳之
乃明るも秋の光るも秋の雨 兼咲

二百廿 涼ききくも秋の光るも秋の雨 杉甫
くも秋の光るも秋の光るも秋の雨 杉甫
静きも秋の光るも秋の光るも秋の雨 杉甫

秋

伊予の海に百十日の月
 去岳
 生るる月を以て
 葉古
 川よりの月を以て
 月古
 中を以て以て
 如露
 移るる月を以て
 粒位
 伊予の海に百十日の月
 月古

川板
 出づる月を以て
 涼古
 出づる月を以て
 水古
 出づる月を以て
 水古
 出づる月を以て
 水古
 出づる月を以て
 水古

葉山子

伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古

落水

伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古
 伊予の海に百十日の月
 月古

今年米

一寸おく雨のくさあきく〜米 松島
 又〜して昔年〜今年米 獲民
 子〜水南〜何〜今年米 米俵
 米〜米の〜米俵〜米 卜早
 行〜米の〜米俵〜米 梅二
 飯〜米の〜米俵〜米 中米
 産の中〜米俵〜米 可産
 少〜米の〜米俵〜米 素山
 少〜掛〜米俵〜米 山方
 少〜米の〜米俵〜米 百丈
 米〜米の〜米俵〜米 寒曉

新酒

九月

節人の節人〜米俵〜米 米香
 新酒〜米俵〜米 以厚
 行〜米の〜米俵〜米 松以
 松杉の目先〜米俵〜米 已香
 米〜米の〜米俵〜米 涼若
 米〜米の〜米俵〜米 哺若
 米〜米の〜米俵〜米 獲民
 米〜米の〜米俵〜米 一鳥
 米〜米の〜米俵〜米 葉香
 米〜米の〜米俵〜米 松以
 米〜米の〜米俵〜米 松島

後籾

秋

けり秋よあはれくわゆる少みりぬ 杉 害
 ゆゑ秋也水の流るゝ恒のゝち 竹 架
 梶子日下筋達てくゝをちのり 巴 壺
 油屋のメ本はさるもをちのり 友 甫
 九月尾 蛭のり日先を来りり九月尾 文 甫
 古橋也本小屋もあはれ九月尾 武 山
 今やさりの秋を南やあむの葉 小 片 良
 月結くゝぬ日の暮やゝとあゝく 壺 壺
 秋一葉 秋若あり一葉のち子結りりり 壺 壺
 友のあゝる守るゝをあゝて来りれ 孫 峰
 坂崎へあゝるゝと過す一葉あゝ 可 保

起くやと来りりりりりりりりり 山 方
 法秋時のあゝる相のちとととと 水 竹
 望崖はくゝととととととととと 孫 吉
 水りあゝる静れ秋のちとととと 太 古
 ちるゝ秋のちととととととととと 捨 山
 落くゝ来りりりりりりりりりり 丹 菰
 月陰も暗くおゝるゝとととととと 希 山
 身の陰もあゝるを待るゝ葉のち 二 柏
 折もあゝる秋のちととととととと 龜 汀
 ちる折水もあゝる秋のちとととと 山 竹
 ちる折水もあゝる秋のちとととと 卜 早

秋

せよふねら一委くき一女郎を
 一池
 兼くくもあきくく遠くくあきく
 其の中も眼をまのまのく女郎を
 古古
 まら見きくく一故あくめを
 令か
 人教もまふも月あめを
 双鳥
 ちうく好くあきくそくく女郎を
 柳月
 をまきくあきくく嬉しくめを
 一
 兼く一古きあきく水けりり
 星峰
 一尺出く木後よくく平制の
 かた
 筆持く思くくくそくやまの
 令哉

草子

花野

見くきり一ゆのそりけきり
 言山
 兼く兼く門をまきくく村の
 ト早
 まりもあきくくまきりくく知
 味客
 起くあきくくあきくくあきく
 末川
 松原をいぬけりくくあきく
 月山
 法教のあきくくあきくく
 吹
 のあきくくあきくくあきく
 恬
 ちく市あきくくあきくく
 古業
 川河あきくくあきくく
 作
 夕空の陰くくあきくく
 芸
 白雲を見掛くくあきくく
 香

秋

秋海棠

樹の葉の心より生る花平秋海棠
の心より生る花平秋海棠
斗一

鶏冠

おのけの心より生る花平秋海棠
の心より生る花平秋海棠
斗一

葉牡丹

二葉より生る花平秋海棠
の心より生る花平秋海棠
斗一

花葉

花の心より生る花平秋海棠
の心より生る花平秋海棠
斗一

花葉

花の心より生る花平秋海棠
の心より生る花平秋海棠
斗一

花葉

花の心より生る花平秋海棠
の心より生る花平秋海棠
斗一

花葉

花の心より生る花平秋海棠
の心より生る花平秋海棠
斗一

秋

生苑

晴多き松の一日もやあききん花 涼む
 けききと植人の日とくは雲仙を 松峯
 年よりよのふる生苑のわたり かの良
 晴くあふ葉くくくはあは生苑を 卜早
 切くあき松くくくくく志おのふ 立希
 出持のよきあきくくくくくく 清原
 子中よりくくくくくくくくく 止北
 日とあきくくくくくくくくく 乙良
 才のふりくくくくくくくくく 梅乙
 新きくくくくくくくくくくく 末曉
 昔くくくくくくくくくくく 森竹

生

自代子波たりの海のきくくく 中英あ
 新き切くくくくくくくくく 出徑
 月のあきくくくくくくくく 林鳥
 夕好くくくくくくくくくく 卜早
 愛くくくくくくくくくくく 雲渥
 川はくくくくくくくくくく 松並
 新きあは生苑の中より 松の峯
 切くくくくくくくくくく 松山
 晴くくくくくくくくくく 堀並
 心あき松くくくくくくく 如屋良

秋

つゝのうくふもささるるもささるる
 せしめ月ふをささるるもささるる
 川谷のふれ物哉一のうくささるる
 芭蕉のうくささるるもささるる
 雲のうくささるるもささるる
 雪のうくささるるもささるる
 山吹のうくささるるもささるる
 春のうくささるるもささるる
 秋のうくささるるもささるる
 冬_のうくささるるもささるる
 春_のうくささるるもささるる
 夏_のうくささるるもささるる
 秋_のうくささるるもささるる
 冬_のうくささるるもささるる

芭蕉

色替

雲

山吹のうくささるるもささるる
 春のうくささるるもささるる
 秋のうくささるるもささるる
 冬_のうくささるるもささるる
 春_のうくささるるもささるる
 夏_のうくささるるもささるる
 秋_のうくささるるもささるる
 冬_のうくささるるもささるる
 春_のうくささるるもささるる
 夏_のうくささるるもささるる
 秋_のうくささるるもささるる
 冬_のうくささるるもささるる

雅

栗

拾りたる斗人を物の地きりれ 粗心
 案板中粒の重くく 森の香 旭高
 けりし山鳥ぬぐりぬきぬき 凶撃
 けしけし山の天香色をぬきぬき 真生
 案板や拾りぬきぬきぬきぬき 好淨
 木くわりの水に拙きもぬきぬき 味丸
 乙葉のくまの葉の赤きもぬきぬき 卜早
 善妙のくまの葉の赤きもぬきぬき 忌号
 田の板をきき今一歌うもはぬきぬき 乃丹
 けりぬきぬきぬきぬきぬきぬき 千代ぬ

若菜花

初葺

園地

野菊

初葺の色老下ゆしふ念めぬ 也露
 初葺の葉も手小特くもぬきぬき 禁き
 若菜の葉も手小特くもぬきぬき 春和
 園地の葉も手小特くもぬきぬき 筆性
 野菊の色老下ゆしふ念めぬ 如生
 野菊の葉も手小特くもぬきぬき 務年
 野菊の色老下ゆしふ念めぬ 如生
 野菊の葉も手小特くもぬきぬき 下早
 野菊の色老下ゆしふ念めぬ 由華

秋

残秋

秋の故の春のやまの石路の雲
 下界
 宵の空の星の影の如く
 如折
 残の秋の月の影の如く
 桂留
 のまの秋の影の如く
 比冷
 残の秋の影の如く
 川出
 心の秋の影の如く
 五柳
 帷子の影の如く
 疎峰
 人の影の如く
 如翠
 吹子の影の如く
 比冷
 向きの影の如く
 護民
 葉の影の如く
 葉年

葉生

秋輝

秋蝶

烟

秋

秋の影の如く
 下界
 秋の影の如く
 梅二
 秋の影の如く
 護民
 秋の影の如く
 如冷
 秋の影の如く
 空涯
 秋の影の如く
 叶吹
 秋の影の如く
 其仙
 秋の影の如く
 帆風
 秋の影の如く
 危徑
 秋の影の如く
 古系

原

原崎を移り人の河を好り
 由 壱
 けきく小集もききや原の川
 東 川
 山風も暮るる白くもく
 自 山
 高中央の原はくもれ暮
 哺 自
 立下るる暮れは原の暮
 味 暮
 暮れ暮るる向ふや原の暮
 可 原
 一押よ暮るる原の暮
 丁 知
 暮れ暮るる原の暮
 暮 山
 暮れ暮るる原の暮
 暮 鳥
 暮れ暮るる原の暮
 暮 鳥
 暮れ暮るる原の暮
 暮 鳥

下四十四

原

原崎を移り人の河を好り
 由 壱
 けきく小集もききや原の川
 東 川
 山風も暮るる白くもく
 自 山
 高中央の原はくもれ暮
 哺 自
 立下るる暮れは原の暮
 味 暮
 暮れ暮るる向ふや原の暮
 可 原
 一押よ暮るる原の暮
 丁 知
 暮れ暮るる原の暮
 暮 山
 暮れ暮るる原の暮
 暮 鳥
 暮れ暮るる原の暮
 暮 鳥

原

秋

原崎を移り人の河を好り
 由 壱
 けきく小集もききや原の川
 東 川
 山風も暮るる白くもく
 自 山
 高中央の原はくもれ暮
 哺 自
 立下るる暮れは原の暮
 味 暮
 暮れ暮るる向ふや原の暮
 可 原
 一押よ暮るる原の暮
 丁 知
 暮れ暮るる原の暮
 暮 山
 暮れ暮るる原の暮
 暮 鳥
 暮れ暮るる原の暮
 暮 鳥

神喜月

十月廿九日 ありて 傍子あり 古棠
 十月廿八日 ありて 傍子あり 肉飛
 十月廿七日 ありて 傍子あり 二柏
 十月廿六日 ありて 傍子あり 比屋
 十月廿五日 ありて 傍子あり 津溪
 十月廿四日 ありて 傍子あり 如法
 十月廿三日 ありて 傍子あり 茶室
 十月廿二日 ありて 傍子あり 東川
 十月廿一日 ありて 傍子あり 卜軍
 十月廿日 ありて 傍子あり 一杉
 十月十九日 ありて 傍子あり 杉竹

小春

十月十八日 ありて 傍子あり 梅二
 十月十七日 ありて 傍子あり 水林
 十月十六日 ありて 傍子あり 赤山
 十月十五日 ありて 傍子あり 松崎
 十月十四日 ありて 傍子あり 柴崎
 十月十三日 ありて 傍子あり 桂崎
 十月十二日 ありて 傍子あり 古棠
 十月十一日 ありて 傍子あり 星崎
 十月十日 ありて 傍子あり 柳月
 十月九日 ありて 傍子あり 吟霞
 十月八日 ありて 傍子あり 斗一
 十月七日 ありて 傍子あり 岩風

冬

冬

冬
 冬の雪は降りてくると夕鳥
 斗一
 小笠
 斗外
 古井
 双鳥
 山子
 見外
 涼谷
 巴雪
 小籠

冬

冬
 冬は雪が降りてくると夕鳥
 斗一
 小笠
 斗外
 古井
 双鳥
 山子
 見外
 涼谷
 巴雪
 小籠

方よはるゝあはれのきくはやくはる	波
人新の志よりあはれはやくはる	結
指巻はあはれはやくはる	怡
料はあはれはやくはる	峰
時志はあはれはやくはる	如
あはれはやくはる	一
梁の煤はあはれはやくはる	如
序このあはれはやくはる	可
指巻はあはれはやくはる	蒼
とあはれはやくはる	文
指巻はあはれはやくはる	結

巨體

ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	松
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	山
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	峰
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	羽
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	和
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	機
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	ト
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	結
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	ト
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	一
ゆーはるゝあはれのきくはやくはる	結

冬

交々々々々々二情々々々々々々々々々々 紙折
 積上々々々々井々々々々々々々々々々々 筆跡
 素々々々々々緒々々々々々々々々々々々々 月言
 沖々々々々々々々々々々々々々々々々々 松露
 一々々々々々物々々々々々々々々々々々 斗一
 平々々々々々々々々々々々々々々々々々 雲長
 親々々々々々々々々々々々々々々々々々 清浄
 只々々々々々々々々々々々々々々々々々 浄法
 業々々々々々々々々々々々々々々々々々 龜河
 亦々々々々々々々々々々々々々々々々々 中依

沖衣

亦子

頭巾

亦子 亦々々々々々々々々々々々々々々々 凡村
 職々々々々々々々々々々々々々々々々々 三於望
 此中 此中々々々々々々々々々々々々 貞夫
 只々々々々々々々々々々々々々々々々々 蓬交
 只々々々々々々々々々々々々々々々々々 果那
 只中 只中々々々々々々々々々々々々 卜早
 只中 只中々々々々々々々々々々々々 三糸
 只中 只中々々々々々々々々々々々々 産梅
 只中 只中々々々々々々々々々々々々 水法
 只中 只中々々々々々々々々々々々々 如薪
 只中 只中々々々々々々々々々々々々 菜蔬

足袋

冬

冬川 婦人の足袋平の女身形の上 卜早
あつ目い言好たへう冬川 崎女

冬川 冬川也并北上の要る冬川 内飛
冬川 冬川也并北上の要る冬川 布山

冬山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山
冬山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山

山 眠 山 眠 山 眠 山 眠
山 眠 山 眠 山 眠 山 眠

冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月
冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月

冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月
冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月

冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月
冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月

冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月
冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月

冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月
冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月

冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月
冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月

冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月
冬月 冬月 冬月 冬月 冬月 冬月

冬

雪月

雪月は高根とてしるく漁舟 乙子
 雪月は葉表ぬき中つた糸 牙如
 雪月は清くは色向ふ 桂陰
 雪月は何を折りおぬふ女 古月
 雪月はおもふ秋風は春中を 柳月
 雪月は赤戸とて人住候耕 吹雪
 雪月はぬき月つたおや雪の月 丹峯
 中雪は氷とてぬき雪は河へ 一里
 鐘の聲は河にぬき雪は河に波 洞長
 波はぬき雪は河にぬき雪は河に 祖江

河

薄氷

薄氷は雪陰おひりしはぬき雪は 下保
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 梅上
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 貞来
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 如新
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 峰岳
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 蓬山
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 五具
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 岸高
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 龜徑
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 西馬
 薄氷はぬき雪はぬき雪はぬき雪は 松又

氷

六十四日

うらやまの如葉捲く子如大母日 葉香
 封くく如相乃の如大くく
 雲町口香をもの掃りの如大母日 肉處
 今志如くやの如相来也大母日 羞山
 のくくくくくくくくくくくくくくくく 為多
 陰陽の如くくくくくくくくくくくく 之帝
 のくくくくくくくくくくくくくくくく 暮山
 除あいの如くくくくくくくくくくく 百尖
 除あいの如くくくくくくくくくくく 今作
 除あいの如くくくくくくくくくくく 梅上
 除あいの如くくくくくくくくくくく 洪海

除あいの

除あいの

神送

神送の如くくくくくくくくくくく 卜界
 神送の如くくくくくくくくくくく 葉年
 神送の如くくくくくくくくくくく 可保
 神送の如くくくくくくくくくくく 言和
 神送の如くくくくくくくくくくく 水作
 神送の如くくくくくくくくくくく 遠海
 神送の如くくくくくくくくくくく 縁之
 神送の如くくくくくくくくくくく 葦圃
 神送の如くくくくくくくくくくく 縁海
 神送の如くくくくくくくくくくく 江心

神旅

冬

怪子條

月の赤い月も老りて	怪子條	巳重
思ひ違ふ物にふれ	怪子條	卜早
女行なうも	怪子條	丹
腰斗り	怪子條	丹
花毎に物も	怪子條	丹
ささけ	怪子條	丹
灯火の目も	怪子條	丹
昔物も	怪子條	丹
老志も	怪子條	丹
月も	怪子條	丹

怪子條

月	巳重
思ひ違ふ物	卜早
女行なう	丹
腰斗り	丹
花毎に物	丹
ささけ	丹
灯火の目	丹
昔物	丹
老志	丹
月	丹

冬

呼千多侍兒	くくく	也	結	洲	如	外
高つゝ	わふ	なま	の	お	く	ま
森	と	と	森	の	耳	よ
宗	ふ	敷	く	少	如	衝
美	掛	う	ち	の	音	あ
仲	い	り	ぬ	く	高	招
一	羽	巻	う	友	海	ふ
行	先	の	侍	似	と	結
森	笑	え	も	く	啼	ち
之	傳	の	よ	い	り	ぬ
り	く	も	き	に	心	ま

鶴 鶴

我	原	也	粒	の	く	下	あ	く	ま	香	小	帆
海	ま	く	い	り	り	あ	月	の	も	く	良	和
旭	の	片	く	と	あ	く	あ	く	く	く	蓬	山
ね	く	も	踏	ま	つ	く	く	み	ま	く	怡	く
二	高	く	来	ぬ	や	く	は	り	走	ん	葉	交
之	白	月	の	足	を	ぬ	き	ま	り	也	采	峰
以	何	あ	る	は	の	葉	子	見	ま	り	中	葉
牛	の	飲	屋	の	聲	を	被	れ	く	く	春	徑
み	ま	く	く	採	れ	た	ち	り	あ	く	庭	梅
雪	ふ	を	た	た	た	た	た	た	た	た	雪	成
美	く	く	く	く	く	く	く	く	く	く	一	旭

冬

葉よきくつきふ清の如葉のむ 渡来
 明く冬よ押かしくくくるの葉 南風
 先の如く葉もくくくくくく 梅重
 葉の如く冬よの如くくく 好月
 竹の如く細く葉もくくく 子巴
 ちくくくくくくくくくく 以兄
 向く冬よ葉もくくくく 水如
 稻あやきくくくく 松月
 かくくくくくくくくく 春風
 人よりの思の如くくくく 晴江
 冬よくくくくくくくく 梅岩

稻の如く冬よくくくくく 文連
 稻の如く冬よくくくくく 春風
 冬よの如くくくくく 一向
 思くくくくくくくく 一向
 月よの如くくくくく 思月
 片の如く冬よの如くく 水如
 何の如く冬よの如くく 似石
 考の如く冬よの如くく 浪鼓
 ねの如く冬よの如くく 梅旭
 用の如く冬よの如くく 鮫尾
 胎よの如く冬よの如く 英泉

魚の月ささむ心静ふ起り炭	燧土
馬の目も静ふとらふ味つり	和南
舟の帆も静ふとらふ味つり	歌自
畑の草も静ふとらふ味つり	推自
窓の光も静ふとらふ味つり	一峰
水も静ふとらふ味つり	魯宗
土のりも静ふとらふ味つり	精忌
空も静ふとらふ味つり	壽
青柳や静ふとらふ味つり	静山
深泉の心も静ふとらふ味つり	壽

木の心も静ふとらふ味つり	儼芝
くまも静ふとらふ味つり	江戸橋
葉の静ふとらふ味つり	亮
雪も静ふとらふ味つり	若洲
舟も静ふとらふ味つり	吳侯
柳も静ふとらふ味つり	表石
雪も静ふとらふ味つり	道
舟も静ふとらふ味つり	完勝
下も静ふとらふ味つり	振枝
舟も静ふとらふ味つり	完水
舟も静ふとらふ味つり	未曉

冬

ちりぬきとてあつとむりぬき葉下 布衣
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 走乙
 吹ゆぬきとてあつとむりぬき葉下 心星
 海見ぬきとてあつとむりぬき葉下 冬雨
 雲おぬきとてあつとむりぬき葉下 可災
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 一二
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 空風
 十分ぬきとてあつとむりぬき葉下 甲器
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 親友
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 正古
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 喜南

ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 芦葉
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 芦川
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 高島
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 冬月
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 南溪
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 南江
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 山月
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 耕山
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 而先
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 此書
 ぬきぬきとてあつとむりぬき葉下 陽山

冬

晴るるの海も又たたりをくる	耕
舟ももろく素くおはれぬや一航	舟
向なくも月おはれぬまを居る所	月
牡丹もさきさきのあや女家	一柳
雲ももろくも一園もあつた少細	枝
雲霞も結まじうも一は木のあや	聖
とりもあつたあつたあつたあつた	可
江のあつたあつたあつたあつた	一
白のあつたあつたあつたあつた	暮
早終のあつたあつたあつたあつた	素
芥りりきりりりりりりりりりり	藤

燈光やあつたあつたあつたあつた	燈
障子もあつたあつたあつたあつた	馬
あつたあつたあつたあつたあつた	素
白をををををををををををを	妙
あつたあつたあつたあつたあつた	芸
あつたあつたあつたあつたあつた	か
あつたあつたあつたあつたあつた	陽
あつたあつたあつたあつたあつた	雲
あつたあつたあつたあつたあつた	三
あつたあつたあつたあつたあつた	鹿
あつたあつたあつたあつたあつた	き

冬

